

Check Point 2

食前の支援におけるチェックポイント

次のチェックポイントのうち、日々行っていると思うものにチェックをつけてみましょう。

【食べる気持ちを引き出す】

- 献立について説明がなされているか
- 食材を話題に取り入れるなど、「食べたい気持ち」を引き出す工夫がなされているか
- 調理や用具などの希望をうかがっているか
- 手や口腔内を清潔にしているか
- 必要に応じて義歯の装着確認、ナプキンやタオル、エプロンを用意しているか
- 利用者がイメージしやすいようにメニューの紹介に加え、食材や調理法などを伝えているか

【ADL（日常生活動作）の状態】

- 排泄の有無の確認
- 身支度（整髪、服装、化粧、食事時に必要なタオルやハンカチ）を整えているか
- 起居動作の確認
- 移乗や移動の状態の確認

【姿勢】

- 食事時のいすは、足底が床について安定した姿勢がとれる高さにし、テーブルは、楽に肘を置ける程度の高さにしているか
- ベッド上で食事をする場合は、誤嚥を防ぐため、30°くらいにベッドを起こして頸部を前屈させているか

【環境の状態】

- 座位がとれる場合は、できるだけベッドから離れて食事ができるよう支援しているか
- ベッド上で食事をする場合は、できるだけ食事にあふさわしい場所にするよう支援しているか
- 食堂内の明るさは適切か
- テレビやBGMの音量、内容は適切か
- 室温、湿度の確認
- すきま風や空調、換気扇の風の状態の確認
- においの状態の確認
- 大勢で食事する場合には、ほかの利用者への目配り、声かけを行っているか
- 食席は清潔で、片づいているか
- 食べ物が見やすく、取りやすい位置に配膳されているか
- 食べやすい状態（魚の骨、口に入る大きさ、果物の皮など）になっているか
- 介助者用のいすが適切な位置に準備されているか
- 同席者とのコミュニケーションが図られるように配慮されているか
- 同席者とのコミュニケーションの様子はどうか（様子：_____）
- 落ち着いて食事に集中できる雰囲気になっているか

楽しく、心身ともに満たされる食事の時間を演出しましょう。

さくらい・えみ

東京福祉大学・大学院社会福祉学部社会福祉学科助教
社会福祉士・介護福祉士。特別養護老人ホーム介護職、デイサービス相談員を経て、現職。著書等に、「介護技術〇と×」「根拠に基づく生活支援技術の基本（DVD）」（共同監修、ともに中央法規）などがある

Check Point 1

食前の支援におけるアセスメントのポイント

食前の支援におけるアセスメントができているか、以下の項目にチェックをつけてみましょう。

【身体的側面】

①体調

- 体調（全身状態）の確認
（状態：_____）
- （朝食時）夜間の睡眠状態や覚醒時の状態の確認
（睡眠状態：_____）
（覚醒状態：_____）
- 声かけに対する反応
- 排泄・空腹感・発声の状態の確認
（状態：_____）
- 呼吸の状態の確認
（状態：_____）

②全身状態

- 手足や体幹、関節等の動きに変化がないか
（変化：_____）
- 緊張、こわばり、拘縮の状態の確認
（状態：_____）
- 口腔と口腔周辺の状態（口臭、自歯や義歯の状態）の確認
（状態：_____）
- 発声の状態の確認（滑舌と併せて）
- 姿勢の確認（立位、座位姿勢は安定しているか）

【精神的側面】

- 活気、食欲、気分の確認（「食べる」意欲など）
- 表情の確認

- 食席につくまでの会話の内容はどうか
（内容：_____）
- 職員やほかの利用者とのかかわりがあるか

【ADL（日常生活動作）など】

- 寝姿や座っている姿勢に変化がないか
（変化：_____）
- ベッド上で利用者がリラックスできているか
（阻害要因：_____）
- ベッドからの起居動作、移乗、移動動作に変化がないか
（変化：_____）
- 立ち上がり、立ち座り、車いす操作、歩行の状態、杖のつき方などに変化がないか
（変化：_____）

【食席での様子】

①認知機能

- 食堂であると認識しているか
- 自分の席であると認識しているか

②精神的要因

- これから食事であると理解し、落ち着いているか
（阻害要因：_____）
- 座位姿勢の確認
（状態：_____）

身体機能の状態の変化は、「食べる意欲」「食べたい気持ち」に影響します。
安心して食事ができる環境を整えることが大切です。